

# 向陽台地区

令和5年11月11日 (城山公民館講座室)

No.	質問内容	回答
1	<p>Q1 今後65歳以上の人口が急増することに伴い、地域デビュー人口（地域で地域のために働く人達）も増加する。地域デビューする方を今まで以上に積極的に受け入れる方策について、市の見解を伺いたい。</p> <p>Q2 市が取り組んでいる地域デビュー事業をもっとPRするため、パーティー形式にして開催してはどうか。</p> <p>Q3 実際にパーティー形式で市民活動を紹介したり、メンバー募集等を行った場合、発生した費用を市は補助してくれるのか。</p>	<p>Q1 市では高齢になっても地域の中で活躍いただくことは介護予防の観点からも重要であると考えており、これまでも介護支援ボランティア制度等の施策を展開しており、65歳に到達した方には介護保険のお知らせに介護支援ボランティア制度のご案内を同封し参加を呼びかけている。また、仕事をリタイアする前から健康習慣を獲得し、社会参加に興味を持っていただくことを目的に50歳前後の方から参加いただける介護予防事業として50UP講座を実施している。これは、働いている方も参加しやすいように休日にオンラインで開講する連続9回～10回程度の講座としており、体操や地域で活躍している講師の方を招き趣味活動等の紹介を行っており、この講座から市内での趣味活動等への地域社会参加に繋がった方も出てきている。更に、向陽台地区をはじめ、地域の中で支え合いの仕組みを構築している地区も出てきている中で、地域デビューした方が担い手となり活躍の場となることも期待しており、担い手となる際に役立てていただくこと等を目的に毎年「生活援助型スタッフ研修」を実施している。今後も高齢者の社会参加、地域参加については、積極的に後押ししていきたいと考えている。</p> <p>また、市民活動サポートセンターいなぎでは、退職した方たちが地域で活動しやすいように支援を行っている。地域活動に興味がある方はぜひご活用いただきたい。</p> <p>Q2 パーティー形式で開催するというご提案は良いと思うが、あくまでも市民活動として実施することが趣旨である。全て行政にやっってくださいというのではなく、パーティー形式でやりたいのであれば、ぜひ市民活動サポートセンターいなぎに入ってください、企画する側に立っていただくと地域デビューにつながるのではないかと。</p> <p>Q3 市民活動の紹介は、市の予算で市民活動サポートセンターいなぎのホームページやチラシで行っている。もっと周知・広報を拡充すべきということであれば、市民活動サポートセンターいなぎにご提案いただきたい。そのうえで必要経費については市の補助の範囲でできるかを検討していく。</p>
2	<p>介護支援ボランティア制度のポイント単価が低すぎて交通費にもならない。もう少しインセンティブが増えれば参加意欲が高まるのではないかと。</p>	<p>介護支援ボランティア制度は、税金で賄っているのではなく、介護保険制度の収支の中で行われている。つまり、ポイント単価を上げれば、保険料も上げなくてはならないため、ポイント単価を上げるのは難しいだろう。</p>

No.	質問内容	回答
3	向陽台地区には自治会館が無い。城山文化センターはあるが、使用するには予約が必要である。今後、市民がふらっと立ち寄れる公共施設を整備する予定はあるか。	市の規模・財政力から考え、今後新たに公共施設を整備する予定はない。今ある施設を維持するのが精一杯である。 自治会館について誤解があるようだが、自治会館は自治会が建てるものであり、公共施設ではない。向陽台地区に自治会館が必要ということであれば、市は建設費を補助するので、自治会で建設していただきたい。 なお、向陽台地区にはファインヒル向陽台自治会の自治会館のように、マンションや団地等の集会室があるので、そちらを利用していただくか、城山文化センターをご活用いただきたい。
4	過去のタウンミーティングで、「城山小学校の空き教室があれば地域住民の市民活動の拠点として利用できるような有効な活用を考えている。そのためには学校・教育委員会と話し合いながら検討していきたい」というお話をいただいた。この件について、現在どのように考えているか。	将来的な可能性を申し上げたままで、実現するには学校の理解が必要になる。最近では学校側も安全確保に力を入れていて、外部の人が自由に学校に出入りするのを嫌がる。外部の人が学校活動とは別に学校を利用するには、専用の入り口を設けたり、学校区画に入れられないような構造上の変更をしないと学校の理解を得られない。 確かに城山小学校は児童数が減ってきて、空き教室もあるが、まだ学校の空きスペースを外部の人が自由に使えるような状況にない。今後も協議をしながら、基本的には空きスペースを活用する方向で検討していきたいが、今すぐには難しい。 城山小学校は児童数が減っているため廃校になるのではないかと、若葉台小学校と統合されるのではないかと噂があるが、私の個人的な考えでは、小学校は地域のコミュニティの核であるため統廃合は避けたい。場合によっては学区を変更してでも城山小学校は維持していきたい。
5	サイゼリヤが無くなってしまい、向陽台地区には飲食店が無くなってしまった。飲食店を誘致していただきたい。	飲食店の誘致については、民間企業の経営判断で出店場所や出店の可否等が検討され、決定されるものである。飲食店が撤退してしまうのは、利用者が少ないことも理由の1つである。特色なのか、稲城市民は市内で外食をしない人が多い。 サイゼリヤの土地はURからの定期借地であった。これは状況から見た私の予想だが、現在稲城の地価はどんどん上がっているため、URの土地代も契約を更新する度に上がり、サイゼリヤの利用者はたくさんいたが採算が合わなくなり撤退してしまったのではないかと推測している。 皆さんからのご要望もあったため、URには稲城市長名で飲食店を作りたいという要望書を出している。向陽台連合会からもURに要望書を出していただくと効果があるかもしれない。
6	稲城の魅力あるまちづくりとは。	稲城市は人口が増え、地価も上がり、非常に脚光を浴びている。魅力あるまちづくりというのは、地域ごとに時代に合わせたまちづくりを行うことである。今稲城の一番の魅力は上平尾の小田良地区であると考えている。

No.	質問内容	回答
7	サイゼリヤの跡地はURが積水ハウスに売却したという話を聞いている。以前URには市長名で飲食店を作って欲しいという要望を提出したということだが、土地の所有者がURでは無くなっていたら、その要望も間接的になってしまう。飲食店の誘致について積水ハウスに要望して欲しい。	確認する。  (タウンミーティング後) 以前URに要望を出した時と同じように、積水ハウスにも要望を出す。
8	今回タウンミーティングに参加し、話を聞いて、財政状況等から要望にこたえられないことがあるのは分かるが、向陽台地区のタウンミーティングなのだから、もっと向陽台の住民の話を聞いて欲しい。サイゼリヤの件も、事前に土地の所有者をきちんと調べたうえで話しして欲しい。	タウンミーティングというのは意見交換の場であり、全て情報を整えてこの場で回答するというものではない。
9	以前、喫茶陽だまりは土・日曜日も営業していたが、営業時間が短縮になり、現在は土・日曜日の営業が無くなってしまった。お年寄り達がふれあいセンターを利用した後に地域の人たちと休憩する場所が無くなってしまったため、土曜日だけでもお試しで営業してもらえないか。 また、自分はふれあいセンターで活動（知的障害者サークルおしゃべりサロン）をしていて、喫茶陽だまりで働いている障害者の皆さん達と関わることがあり、障害者の皆さんはもっと働きたいと言っていた。	喫茶陽だまりへのご要望は社会福祉協議会に伝えるが、要望通りに営業できるかは分からない。
10	掲示板を設置して欲しい。	向陽台はニュータウンのため景観に配慮しなければならないし、土地や費用の面から掲示板の新設は難しい。 向陽台地区には各自治会・管理組合で設置している掲示板があるため、そちらを利用いただくか、自主的に防犯パトロール活動を実施する団体に、市が防犯資機材の一つとして防犯掲示板を支給していただくため、ぜひご活用いただきたい。防犯掲示板の支給を希望する場合は、市ホームページで支給条件をご確認のうえ、申請をお願いしたい。

No.	質問内容	回答
11	以前、市政への提案で夕方のチャイムの音楽を夕焼け小焼けに戻して欲しいと提案したが、市歌を広めたいという理由で却下された。その後、市歌を広めるのが目的であるならば、正午に放送しても良いのではと提案したがそれも却下された。市長は、子どもに帰宅を促す曲として、夕焼け小焼けと市歌のどちらが適切だと考えているか。	市歌だと思う。
12	毎日午後2時に子どもの安全・安心のための見守り放送をしているが、毎日繰り返されると騒音にしか聞こえない。いつまで放送を続ける予定なのか。私は静寂を守るために、緊急時以外は放送をすべきでないと考えているが、どのようにお考えか。	子どもの見守り放送は非常に強い要望があって行っている。時間については、小学校低学年の児童が下校する時間帯に放送している。子どもの見守りは永久的に必要なものであるため、放送をやめる予定はない。ご理解いただきたい。
13	先日、市民協働で障害のある子どもを含め、多くの子ども達が遊べるイベントを開催した。そこで、子ども達に遊びを教えるインストラクターを養成する講座等を市で実施してもらえないか。今後は吉方公園をきっかけに、ボランティアでインストラクターをやってくれる人を募り、市民協働でプレーパークを増やしていきたい。	ご意見として伺う。子どもが増える一方で、優先順位をつけて事業を行っていかなければならない。ご提案いただいたことをやらないという訳ではないが、市内全域でプレーパークをやるには多額のコストが発生する可能性があるため、慎重に考えなければならないと思う。公園にインストラクターを配置すると人件費が発生するため、公園の有料化も検討しなければならない。吉方公園や南山に新たにできる公園の運用を考えながらプレーパーク的な要素を拡充できるかを検討していきたい。
14	東日本大震災時に都内で計画停電があったが、稲城市はなかった。稲城市の回線は異なっているのか。	稲城市でも市立病院が計画停電の対象になった。一番計画停電になっては困る市立病院が対象になってしまったため、東京電力に掛け合っただけで計画停電が起りにくい系統に変更してもらった。これ以上の詳細については、東京電力から教えてもらえていないので分からない。

No.	質問内容	回答
15	<p>東京都より自主防災組織への助成金が出たが、対象となるのは自治会だけで、管理組合は対象外であった。多摩市では、自治会と管理組合を同等に扱う取り組みがある。稲城市も管理組合には市から助成金を出す等して、自治会と同じように市民の命を守れるようにして欲しい。</p> <p>また、市においても連合会と自治会で扱いが異なる部分があるので、そちらも差が生じないようにして欲しい。</p>	<p>自主防災組織に差を設けるということは無いと思う。実情を確認して回答する。</p> <p>(タウンミーティング後)</p> <p>東京都の助成金「町会・自治会防災力強化助成」については、助成対象は自治会のみである。これは、自治会の備えを再点検することだけでなく、自治会への加入促進も目的とした助成であることから、自治会のみが対象となっている。</p> <p>稲城市では助成金制度はないが、自治会・管理組合関係なく、自主防災組織には倉庫や備品の貸与をしている。連合会と自治会で扱いが異なるということについては、連合会は自治会の集まりであるため、扱いは同等にできない。市は自治会に対して補助をしている。</p>
16	<p>サイゼリヤの土地は既に積水ハウスに登録されているため、市から要望書を提出して欲しい。</p>	<p>ぜひ向陽台地区連合会からも要望書を出していただきたい。</p>
17	<p>プラスチックごみの分別回収が始まったが、完全に資源化されているのか。</p>	<p>汚れた物や不適物は排除しているが、基本的に全てプラスチックとしてマテリアルリサイクルしている。</p>